

日本声楽発声学会

2022 年度 夏季研修会

日程：令和4年（2022年）8月22日（月）・23日（火）

■ 8月22日（月）受付開始 12:30
A講座 13:00～15:00、B講座 15:20～17:20

■ 8月23日（火）受付開始 9:30
C講座 10:00～12:00、D講座 13:00～15:00

場所：日本福音ルーテル東京教会（JR新大久保駅下車徒歩7～8分）

東京都新宿区大久保1-14-14（会場への電話はご遠慮ください）

（お願い）

- ① 携帯電話等音の出るものは電源をお切り下さい。
- ② 録音、録画、写真撮影は固くお断りいたします。
（なお、本学会では記録・ネット配信用として録音・録画はいたしますが、それ以外は個人のプライバシー保護のため、厳禁といたします。違反の場合は機材等を学会でお預かりすることがあります。）
- ③ コロナ感染予防の観点から、体温の計測、手指の消毒、マスクを着用の上ご入場下さい。

ご挨拶

本日お集まりの皆さま方には、ますますご健勝のうちにお過ごしのことと拝察申し上げます。

今年度の夏季研修会は2019年に開催して以来の3年ぶりとなります。

しかし、今年も長引くコロナの蔓延に加えて、大きな出来事が後から後から新たに生じ、私共の日常生活や社会生活、はたまた精神生活に強烈な影響を及ぼす結果となっております。

今回の夏季研修会も、諸々の事情を考慮し、実行を差し控えねばならないかと考え倦ねておりましたが、勇気ある執行部の先生方を始め、理事会も全員一致で開催に賛成を示して下さったことで、いざ決行と言う事になりました。

但し、今のところ政府からは何も規制や制約が出されておられません。そこで、今後、緊急事態宣言等が表明された場合には、直前でありましても、残念ながら夏季研修会の開催を見送らねばなりません。会員の皆さまには、どうか事情を深くご理解の上、ご寛容にお受け止めいただけましたら、幸甚に存ずる次第であります。

さて、2日間に亘ります今回のプログラムは、全国からお集まりの皆さま方に、より良く、そしてより実りある研修内容のご提供が出来ますようにと、昨年合唱コンクール中学の部で全国三冠（NHK、全日本、民放）を達成された指導者の先生。日本を代表する作曲家。そして私たちが初めて体験するであろう耳には聴こえて来ない超高周波が、人の心の癒しになると言う音響物理学のお話。

恐らく皆さま方には、ある種の驚きと喜びを味わっていただく事となるでしょう。

2日目の午後には恒例の「歌の集い」です。ご応募下さいました会員の方々の演奏会が催されます事、大変楽しみでございます。

最後になりますが、今回はコロナ等の影響により遠方から会場にお出掛けが叶わなかった方々の為に、プロの録音・録画技師にお願いしてインターネットで配信できるように手配をいたしました。これは当学会にとりましては、60年近い歴史の中で初めての経験であります。私たち自身で録音・録画したものを配信する事は可能ではありますが、会員の皆さまを含めて皆音楽家であることを考えて敢えて音質、画質にこだわることにいたしました。勿論プロの方をお願いするわけですから結構な予算を準備することになりますが、それもこの2年間、何も出来ずにおりましたので、理事の皆さんの了解を得まして、勇気を持って作成することといたしました。2ヶ月位は編集に時間を要するとの事ですので、11月頃には配信が可能となるものと思われまます。詳細につきましては、10月発行の学会通信やホームページでお知らせいたします。

有意義な声楽発声研修会の2日間となります事確信いたしております。

会長 川上勝功

プログラム

総合司会 佐々木正利（副会長）

第1日 8月22日（月）

開会挨拶 会長 川上勝功（12:55～13:00）

◎ A 講座 「公開講座」 13:00～15:00

司会 竹田数章

演題：「中学生の歌唱指導 現状と課題&展望」

会場 2階礼拝堂

講師 横田純子（よこた じゅんこ）（府中第四中学校教諭）

概要

公立中学校の音楽科教諭として、長年、歌唱・合唱指導に携わってきた経験から、中学生の指導や、対処法のコツを語ります。

集団で学ぶ音楽の授業において、意欲的・主体的に声作りに取り組ませるための、工夫を授業撮影動画をご覧いただきながら、解説します。

3年間に亘り、定点カメラで記録を取り続けた、中学生の劇的な身体と声の変化を動画で紹介しながら、それに対してどのようなアプローチをしてきたか解説します。

また、様々な特徴の中学生の持ち声を、実際に聞いていただき、そのトラブルに対して、中学校教師としてどのようなアプローチをするか、ライブでご覧いただく。

演奏者：府中第四中学校有志

プロフィール

横田純子 氏

東京音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。その後中学校の音楽科の教員として町田市立成瀬台中学校、八王子市立柵田中学校、狛江市立狛江第四中学校を経て、現在は府中市立府中第四中学校に勤務している。

一貫して混声合唱指導を続け、2004年には狛江市立狛江第四中学校の合唱部の顧問として、第72回NHK全国学校音楽コンクール全国大会において金賞を受賞している。

2012年と2014年には、府中市立府中第四中学校にて、全日本合唱コンクール全国大会において金賞を受賞。その後2021年には、全日本合唱コンクール全国大会で文部科学大臣賞を受賞、さらにNHK全国学校音楽コンクールで金賞を受賞し、2冠を達成した。全国各地より呼ばれ、独自の授業方法を講演して回っている。

著書には以下のものがある。

『横田純子先生の「楽しい合唱の玉手箱」～音楽で人をつなげる部活動づくり～【全2巻】』ジャパンライム

『クラス合唱曲集 Let's Chorus!』音楽之友社

連載「レッツ・コーラス！～心が通う授業づくり～」音楽之友社 月刊誌『教育音楽』

◎ B 講座「現代日本の作曲家シリーズ 講座 X」

15:20～17:20

司会 佐々木正利

演題：「ことばと向き合う」

会場 2階礼拝堂

講師 なかにし あかね（神戸女学院大学・同大学院教授）

概要

ことばを声に乗せて歌う声楽作品を作るにあたっての言葉との向き合い方について、いくつかの実例をあげつつお話させていただきます。

実演 ten. 辻裕久 pf. なかにしあかね

プロフィール

なかにし あかね 氏

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ大学院にて作曲修士号、キングスカレッジ大学院にて作曲博士号を修める。作曲をサー・ハリソン・パートウィスル、声楽伴奏法を故ジェフリー・パーソンズ各氏に師事。第66回日本音楽コンクール作曲部門第1位及び安田賞受賞、国際フランツ・シューベルト作曲コンクール入賞など入選・入賞多数。歌曲伴奏者としても複数のCDが「レコード芸術」特選盤に選ばれているほか、指揮、指導、審査員、講習会講師、執筆活動など、音楽文化を多角的にとらえた活動を展開している。平成17年度文化庁在外研修員。現在、神戸女学院大学・同大学院教授。

辻 裕久 氏

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修了。英国王立音楽院大学院演奏家養成コースを名誉ディプロマを得て修了。1994年ダイアナ妃後援による『メサイア』公演のソリストとしてロンドン・ロイヤル・フェスティバルホールにデビュー、オペラ、オラトリオ、古楽のソリストとして国内外で活躍するほか、現代音楽の分野でも数々の世界初演、日本初演を手がけ、特に英語歌唱のエキスパートとして貴重な存在となっている。毎年開催しているリサイタルシリーズ『英国歌曲展』のほか、CD『ベンジャミン・ブリテン歌曲集』(FMC5040)『ベンジャミン・ブリテン歌曲集Ⅱ』(FMC5045『レコード芸術』特選盤)、『日本歌曲第1集』(FMC-5049-5050 レコード芸術準特選盤)、『ヴォーン・ウィリアムズ歌曲集～牧場にそって』(ALCD-7125 朝日新聞・毎日新聞・音楽現代推薦盤、レコード芸術特選盤)、ヘンデル『メサイア』(シュナイト指揮/WWCC7403～4)、『日本歌曲第4集』(FMC-5055,5056)、『Home, Sweet Home～イギリス抒情歌曲集』(ALCD-7166 レコード芸術準特選盤)なども高い評価を受けている。

イギリス20世紀歌曲とヘンデル作品の歌唱に対し、グレートエルム声楽賞(英)受賞。第32回フランシスコ・ヴィーニャス国際声楽コンクール第3位並びに最優秀オラトリオ・リート歌手特別賞(西)受賞。ニューヨーク国際オラトリオ・ソリスト・コンクール入賞ほか。現在、玉川大学芸術学部、フェリス女学院大学大学院、東京大学教養学部非常勤講師。ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員。

第2日 8月23日(火)

◎ C 講座 「特別講演」

10:00~12:00

司会 竹田数章

演題：「耳に聞こえない高周波が音楽の感動を高める」

会場：1階会議室1

講師：本田 学（ほんだ まなぶ）（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第七部 部長）

概要

近年、音楽用 CD やデジタル放送を超える高音質のデジタル音響フォーマットを利用したハイレゾリューション・オーディオ（ハイレゾ）が注目を集めています。音は空気の振動ですが、その振動数が1秒あたり2万回（すなわち周波数20kHz）を超えると、人間の耳ではもはや音として感じることはできません。それにもかかわらず、20kHz を遙かに超えた高い周波数成分（超高周波）を録音し再生することができるハイレゾ音源は、明らかに美しく快く感動的に感じられるため、多くのオーディオファンを魅了して急速に普及しつつあります。その直接の引き金をひいたのが、私たちが発見した「耳に聞こえない高周波が音楽の感動を高める現象=ハイパーソニック・エフェクト」です。

なぜ、耳に聞こえない超高周波が音楽の感動を高めるのでしょうか？実は、超高周波を豊富に含んだ音を聴いている時には、同じ音源から超高周波だけを取り除いた音を聴いている時と比較して、脳の快感中枢が強く活性化されることが脳イメージング研究により明らかになりました。しかも快感中枢の反応には数十秒程度の時間遅れがあり、いわば「熱しにくく冷めにくい」こともわかりました。こうした超高周波は、発声法によっては、人間の歌声にも豊富に含まれることがわかっています。

本講演では、こうした超高周波が脳の活動を介して音楽の魅力を高める効果「ハイパーソニック・エフェクト」について、脳科学の切り口から解説します。

プロフィール

本田 学 氏

1988年京都大学医学部医学科卒業。神経内科臨床研修後、95年京都大学大学院医学研究科脳統御医科学系博士課程修了（博士・医学）。米国国立保健研究所（NIH）訪問研究員、京都大学大学院医学研究科博士研究員、岡崎国立共同研究機構（現在の自然科学研究機構）生理学研究所助教授を経て、2005年から現職。早稲田大学理工学術院客員教授、東京農工大学客員教授を併任。これまでに、文部科学省学術調査官、科学技術・学術審議会専門委員などを務める。専門は神経科学、脳イメージング、臨床神経生理学。主な研究テーマは、情報医学の体系化、ハイパーソニック・エフェクトを応用した情報環境医療の開発、感性脳機能のイメージングなど。現在、国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第七部 部長。

◎ D 講座 「歌の集い」

開場 12:30 開演 13:00~15:00 (終演予定)

会場 2階礼拝堂 入場料 2,000 円

司会 齊藤 祐

◎藤原 優花 Fujiwara, Yuka (Sop.) Pf. 安野美咲

Ah! non credea mirarti 〈ああ!信じられない〉オペラ《夢遊病の女》より 作曲: V. Bellini 他

◎岩間 明日香 Iwama, Asuka (Sop.) Pf. 塚本雅子

Motette 《Exsultate, jubilate》モテット〈踊れ、喜べ、幸いなる魂よ〉K. 165 作曲: W. A. Mozart 他

休憩

◎清水 順子 Shimizu, Junko (Sop.) Pf. 林川 崇

O mio babbino 〈私のお父さん〉オペラ《ジャンニスキッキ》より 作曲: G. Puccini 他

◎高木 照子 Takagi, Teruko (Sop.) Pf. 小田切 舞

O luce di quest' anima 〈この心の光に〉オペラ《シャモニーのリンダ》より 作曲: G. Donizetti 他

プログラムの詳細は、別紙参照。

閉会挨拶 副会長 佐々木正利 (15:10) 閉会

2022 年度「夏季研修会」参加要領 A、B、C 講座の聴講料は下記の表の通りです。

※ 3 講座すべて事前申込みの場合は料金 2 割引 D 講座「歌の集い」臨時会費 2,000 円

	正会員	学生会員	臨時会員	高校生以下
1 講座のみ	2,000 円	1,000 円	3,000 円	500 円
2 講座のみ	4,000 円	2,000 円	6,000 円	1,000 円
3 講座全て /2 割引	4,800 円	2,400 円	7,200 円	1,200 円
当日料金	6,000 円	3,000 円	9,000 円	1,500 円
講座: 歌の集い	2,000 円	2,000 円	2,000 円	500 円

■ A、B、C 講座の聴講、及び、D 講座「歌の集い」の申込方法

- ・ ゆうちょ銀行の払込取扱票 (青色) にて、00170-0-119920 (加入者名: 日本声楽発声学会) へ、見合った金額をお振込みください。振込料は各自ご負担ください。
- ・ 通信欄に、①聴講する講座 (A、B、C)、D 講座「歌の集い」入場希望の場合、②会員種別 (正会員・学生正会員・臨時会員・高校生以下)、③住所・氏名・電話番号を、必ず明記してください。
- ・ 当日、参加費納入確認のため、振込受領書または振込明細をご持参ください。
- ・ 聴講料の払込みをもって参加の申込とさせていただきます。当日の参加受付も可能です。

※ 事前振込 期日 8 月 14 日 (金) ※ それ以降は当日受付にて該当の当日料金をお支払い下さい。

◆ お問合せ: 日本声楽発声学会事務局 (担当: 佐々木 徹) 〒154-0002 東京都世田谷区下馬 3-14-4
E-mail: info@jars-voice.org Tel/Fax 03-6804-0626 日本声楽発声学会
Web サイト http://www.jars-voice.org/

